



小川中だより "燦々"

自主性
敬愛

No. 36 平成31年2月15日(金)発行 文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

<市中学校書道展に出品>

先週の2月2日(土)から3日(日)にかけて、いわき市中学校書道展が、ラトブ6階で開催されました。

小川中学校からも代表生徒の作品が出品されました。国語の書写の時間を中心に練習し、校内での審査を経て出品されました。どれも力作です。現在は、職員室に向かう階段の途中に掲示されています。来校の際には、是非、ご覧ください。



<修学旅行説明会を実施>

2月8日(金)の5・6校時に、来年度の修学旅行についての説明会を行いました。来年度目的地は東京方面で、期日は5月8日(水)から10日(金)となります。例年、4月中に実施していますが、4月18日(木)に全国学力・学習状況調査が実施されるため、その週に修学旅行を実施することが難しい状況となりました。必然的に、その週の前後に集中することが予想されたため、充実した修学旅行とするため(劇団四季のミュージカルを観劇、希望ホテルの確保等)、旅行業者と協議の上、5月上旬に実施としました。

現在、班編制も終え、都内班別自主研修の計画を作成するために、見学先の選定や行程の作成を行っています。実際の旅行も楽しいものですが、計画作りも同じように楽しいものです。日本の首都東京には、福島県やいわき市では体験できない場所がたくさんあります。その中から自分たちの目的に合わせて見学地を決定し、見学ルートを考え、移動方法や運賃を調べる。このような活動が思考力や判断力、資料活用能力などを育てていきます。班員のそれぞれの意見をどのようにまとめ、自主研修計画に反映させるか。これもコミュニケーション力や合意形成力などを養うには、とてもよい活動場面です。修学旅行という一大行事を通して、生徒たちが、また一歩大きく成長していくことを期待しています。

<県立高校Ⅱ期選抜の出願>

2月14日(木)に、県立学校Ⅱ期選抜の出願を行いました。2月18日(月)までが出願期間のため、18日の夕方には出願状況が発表されます。その後、2月19日(火)から21日(木)正午までが出願先変更となります。出願先変更には書類等が必要となります。また、変更の手続きは保護者の方が行うようになります。ので、希望がある場合は、早めに学級担任までご連絡をお願いします。

<2020年度県立高校入学者選抜・高校の統合について>

先日、今後の県立高校の統合について新聞で報道されました。昨年の学校だよりで、来年度から始まる新しい高校入試制度についてお知らせしましたが、統合の状況も含め、改めて新しい入試制度についても掲載します。

<2020年度の新入試制度>

- ①Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期選抜から、前期選抜・連携型選抜・後期選抜へ
- ②前期選抜とは、特色選抜と一般選抜があり、どちらの選抜でも学力検査を行う。
 - ・特色選抜は、学力検査の他、面接、小論文・実技等が行われる。定員枠は募集定員の5～50%。
 - ・同一校の異なる学科で、特色選抜と一般選抜の併願ができる。
- ③連携型選抜とは、連携型中高一貫教育を実施する中学校から高校へ出願する選抜
 - ・学力検査の他、面接、連携型検査が行われる。定員枠は募集定員の30%以上。
 - ・同一校の異なる学科で、前期選抜の一般選抜との併願ができる。
- ④後期選抜とは、前期選抜や連携型選抜において、定員の充足していない高校で実施する。
 - ・今までのⅢ期選抜に当たるもので、面接、小論文・作文が行われる。
- ⑤前期選抜・連携型選抜の出願期間等は、今までより早まる。
 - ・前期選抜の出願期間 2月6日～12日(出願先変更 2月13日～17日)
 - ・学力検査 3月4日(今年度は3月7日)

<いわき地区の高校の統合>

- ①湯本・遠野高校(2022年度統合予定)2021年度中学3年生は統合高校で受験
- ②小名浜・いわき海星高校(2021年度統合予定)2020年度中学3年生は統合高校で受験
- ③磐城桜が丘・平工・勿来工で、2023年度までに1学級減

<生徒会専門委員会を開催>

2月13日(水)に、今年度最後の専門委員会が行われました。後期の活動の反省のほか、次年度に向けた申し送り事項などが話し合われました。どの委員会も、学校生活を送る上でなくてはならないものです。また、生徒の皆さんの自主的・積極的な活動によって支えられています。この委員会の活動は、将来、社会の中で、それぞれの立場で活動していくことと同じ意味があります。来年度も、さらに活発な活動となることを期待しています。

<市中学校美術展に出展>

2月9日(土)から12日(火)にかけて、ラトブ6階企画展示ホールで、いわき市中学校美術展が開催され、小川中学校からも生徒代表の作品が展示されました。市内の中学生が美術の授業を中心に作成した作品が展示されていましたが、完成度の高い素晴らしい作品が多く、創造性や創作力、写実性などの高さを感心しました。小川中学校の学校目標の1つに「感性」がありますが、芸術活動はまさに「感性」を磨く活動です。今後も、創作活動に楽しく、取り組んでほしいと思います。



<ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業>

この事業は、県教育委員会が平成14年度から実施してきた「十七字のふれあい事業」で、子どもと家族、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、人と人の関わり合いの中で感じた思いや願いなどを、十七音で表現することを通して豊かな心を育成し、人と人の絆を深め、家庭と地域の教育力の向上を目指す取り組みです。平成29年度から「絆部門」と「復興部門」に分けられ、さらに今年度から県外在住者からも作品を募集する「ふくしま応援部門」を新設し、充実させてきました。

今年度、小川中学校からも出品し、「絆部門」で6つの作品が、「復興部門」で1つの作品が一次審査をとり、いわき教育事務所作成の作品集に掲載となりました。この作品集は、出品があった各学校と児童・生徒に配付されました。小川中から出品された作品を紹介します。

<絆部門>

友の顔 いつもニコニコ うれしいな
(1年生女子)

顔見たら パッと笑顔に なれる友
(1年生女子)

「ただいま」と 笑顔で帰れる 幸せを
(1年生女子)

「ただいま」の 声が元気の パロメータ
(1年女子の母)

農作業 豊作いのり あせながす
(1年生男子)

炎天下 息子と草刈り はかどらず
(1年男子の父)

コンクール 奏でる音色 一つの輪
(2年生女子)

大会日 娘の成長 涙の音
(2年生女子の母)

夏の夜 空見上げれば 星のうみ
(2年生男子)

星の数 無限に広がる 君の道
(2年生男子の父)

つかれてる 母の代わりに お皿洗い
(3年生女子)

寝てる間に 輝く皿と娘 熱い朝
(3年生女子の母)

<復興部門>

復興願い 見上げた空に 夏花火
(3年生女子)

横顔に 幸多かれ 願う母
(3年生女子の母)



来週の予定

月 日	曜日	給食	おもな行事
2月17日	日		福島高専学力選抜試験
2月18日	月	○	放送朝会
2月19日	火	○	カウンセラー来校 県立Ⅱ期選抜出願先変更(～21日正午)
2月20日	水	○	ノー部活デー 朝のあいさつ運動 生徒会役員選挙(5・6校時)
2月21日	木	○	
2月22日	金	○	福島高専学力選抜合格発表